

今年の目玉

鳥取市文化財団の7つの施設の今年の目玉を紹介します。

ほかにもイベントやワークショップなどいろいろあるので、スケジュールをあわせて見に来てね！



鳥取市因幡万葉歴史館

毎年夏に開催している因幡の傘踊りの祭典と、秋に開催している万葉集朗唱の会を、今年は11月3日(日・祝)の同日に開催する予定です。雅楽・舞楽の宴も同日開催予定ですので、にぎやかな一日になります。ぜひご来場ください。



因幡の傘踊りの祭典と万葉集朗唱の会

鳥取城跡・仁風閣展示館

7月6日(土) ①9:30~②10:50~(全2回公演)に鳥取城跡内にある仁風閣庭園で、鳥取市立北中学校有志の皆さんによる音楽コンサートや踊り、お茶のふるまいなどのイベントがあります。入場無料で自由に観覧できますので、お気軽にお越しください。



昨年の北中のイベント

鳥取市埋蔵文化財センター

遺跡の発掘調査の開始に備えて、調査で使用する水中ポンプ・発電機・測量機材などの点検や、ヘルメット・スコップ・移植ごて・手ガリ・ハサミなど道具の準備を行います。手入れの行き届いた道具と作業員さんと共に「今年の目玉」を掘りあてます。



ヘルメットと手ガリ・移植ごて

城下町とつとり交流館 高砂屋

高砂屋では季節ごとに年間を通して端午の節句、七夕かざり、月見、節分、ひなまつりなど、季節ごとの歳時記にちなんだイベント・展示を開催しています。7月7日は七夕。7月1日~旧暦の8月10日まで、来館者に短冊に願い事を書いていただき笹に吊るして旧暦まで飾ります。



歳時イベント・七夕かざり

鳥取市あおや郷土館

今からちょうど100年前の大正13年(1924)、青谷沖で帆立貝が大発生し、当時^{ほたてがい}はとても話題になりました。翌年5月には多くの漁船が沖合に出て、ジョレン網といわれる長さ1.2m~1.8mの道具でたくさんの帆立貝を採っています。

7月13日(土)~8月25日(日)に開催する展覧会「青谷“海”物語」では、実際に帆立貝を採る際に使用したジョレン網のほか、昔の漁具を展示します。ぜひ見に来てください！



帆立貝・山田安治画『時代絵草紙』(個人蔵)

鳥取市あおや和紙工房

7月20日(土)から「リト@葉っぱ切り絵展」が開幕します。ファンタジックな葉っぱ切り絵をぜひお楽しみください。

企画展開幕とあわせ、前庭でアコースティックグループ「カズちゃんコウちゃん」による夕涼みコンサートを開催します。また、館内は夜間開館し午後5時半~8時まで無料開放、CAFÉベリーさんも夜間営業されるなど、特別な夜をあおや和紙工房でお過ごしください。「リト@葉っぱ切り絵展」開催中、企画展をご覧ください。到着200名様にプレゼントを差し上げます。



幻想的な灯籠あかり

鳥取市歴史博物館「やまびこ館」

松尾大社~みやこの西の守護神~

7月20日(土)~9月16日(月・祝)、^{じょうぞう}醸造の神様として古くから親しまれてきた松尾大社(京都府京都市)の宝物の数々を中心に展示します。

本展は、4月~6月にかけて京都府京都文化博物館でも開催しましたが、当館では鳥取との関係がわかる資料をはじめ、京都では展示しなかった資料を大幅に追加して開催します。

